

令和5年9月定例記者会見要旨(令和5年8月31日)

1. コロナ前と同様の通常開催に戻ったさかいで大橋まつりですが、開催を終えての感想や市としての受け止め、また来年に向けた意気込みをお聞かせください。

4年ぶりに通常開催となったさかいで大橋まつりですが、関係者の皆様方のご協力のおかげをもちまして、無事開催することができました。改めてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

令和2年以来のコロナ禍で、地域や職場では人が集う機会がなくなり、人と人とのつながりが弱くなっていましたが、今年のさかいで大橋まつりでは、子どもからお年寄りまであらゆる世代が集い、太鼓台競演やおどりでのエネルギーなかけ声、子どもたちのかけ声、会場に詰め掛けた来場者の声援などが響き渡り、夏の夜に地域あるいは職場の人々が一緒に汗をかき、会場が一つになって大いに盛り上がり楽しんでいただけたと思います。

また、瀬戸大橋開通35周年を記念し、香川県との共催で1万5千発の花火を打ち上げました海上花火大会では、県内外から10万人もの人々が詰めかけ、音楽・レーザー・花火によるコラボレーションの演出により、華やかで迫力ある花火を楽しんでいただけたと思っています。

しかしながら、海上花火大会では、3,400台分の臨時駐車場が早々に満車になるなどし、駐車場に駐車できない車による路上駐車、そして交通渋滞が発生し、近隣の住民の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたことお詫び申し上げます。

また、中央ふ頭においては、多くの来場者が集中することを想定し、備えはしていましたが、これ以上の入場は危険と判断し一時入場規制を行いました。改めて、安全安心を確保するための対策の重要性を感じました。

来年に向けてですが、ご意見などを踏まえながら検証を行い、まずは警備体制や規制などの安全安心を確保するための対策の見直しを行いたいと思います。